

リモートI/O変換器 <b>R3</b> シリーズ		
<b>取扱説明書</b>	Do 8 点 (リレー)、コネクタ形スプリング式端子台	形 式
	<b>接点出力カード</b>	<b>R3S-DC8</b>

## ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

- ・接点出力カード.....1 台

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

### ●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 10 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

### ●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

### ●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

## ご注意事項

### ●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は測定カテゴリ II (出力、過渡電圧：2500 V)、汚染度 2 での使用に適合しています。また、出力-内部通信バス・内部電源間の絶縁クラスは基本絶縁 (250 V) です。設置に先立ち、本器の絶縁クラスがご使用の要求を満足していることを確認して下さい。
- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・高度 2000 m 以下でご使用下さい。
- ・適切な空間・沿面距離を確保して下さい。適切な配線がされていない場合、本器の CE 適合が無効になる恐れがあります。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

### ●ホットスワップについて

- ・カードの交換は他のカードに影響を及ぼしません。このため、電源を入れたままの交換が可能となります。ただし、複数のカードを同時に交換することは大きな電源変動を起こす可能性があります。交換は 1 台ずつ行って下さい。

### ●取扱いについて

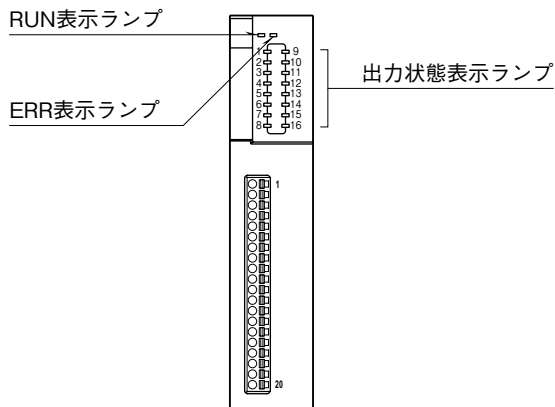
- ・本器のスイッチ類は、通電時に操作しないで下さい。スイッチによる設定変更は、電源が遮断された状態で行って下さい。

## 取付方法

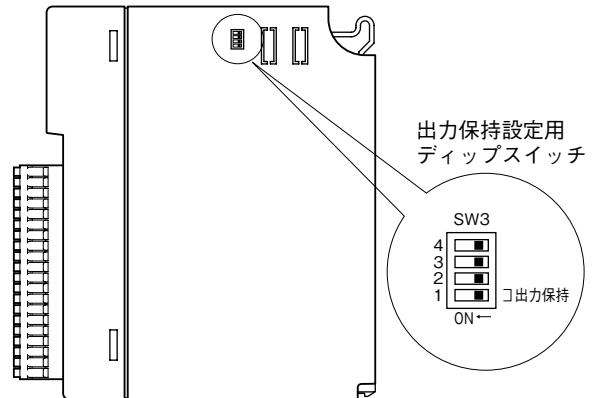
ベース (形式：R3-BS □) をお使い下さい。

## 各部の名称

### ■前面図



### ■側面図



### ■状態表示ランプ

RUN 表示ランプ：赤／緑 2 色 LED

内部通信バス 1 正常時、赤色点灯  
 内部通信バス 2 正常時、緑色点灯  
 バス 1 およびバス 2 が共に正常な場合は赤色と緑色が同時に点灯し橙色となります。

ERR 表示ランプ：緑色 LED、正常動作時点灯

出力状態表示ランプ

- ・ 1 ～ 8：赤色 LED、出力時点灯
- ・ 9 ～ 16：未使用

### ■ディップスイッチの設定

#### ●出力保持設定 (SW3-1)

SW	出力保持	
	通信異常時 出力保持	通信異常時 出力 OFF
SW3-1	OFF (*)	ON

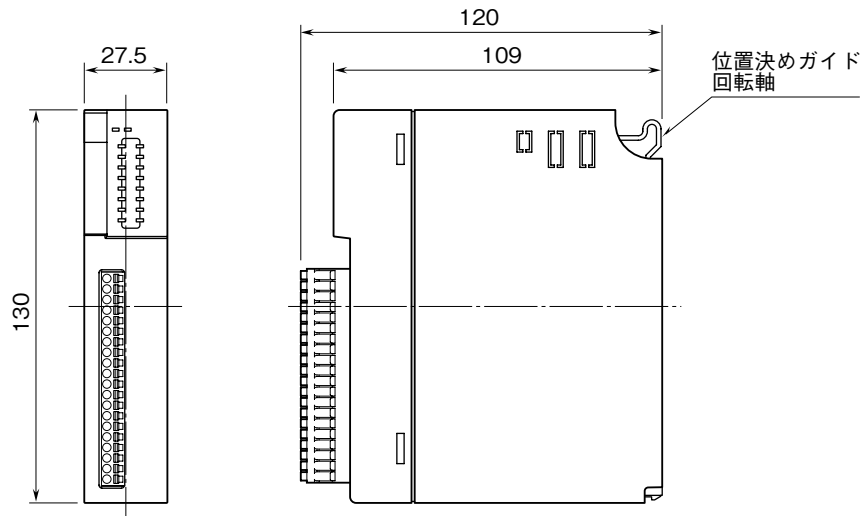
(\*) は工場出荷時の設定

注) SW3-2 ～ 4 は未使用のため、必ず“OFF”にして下さい。

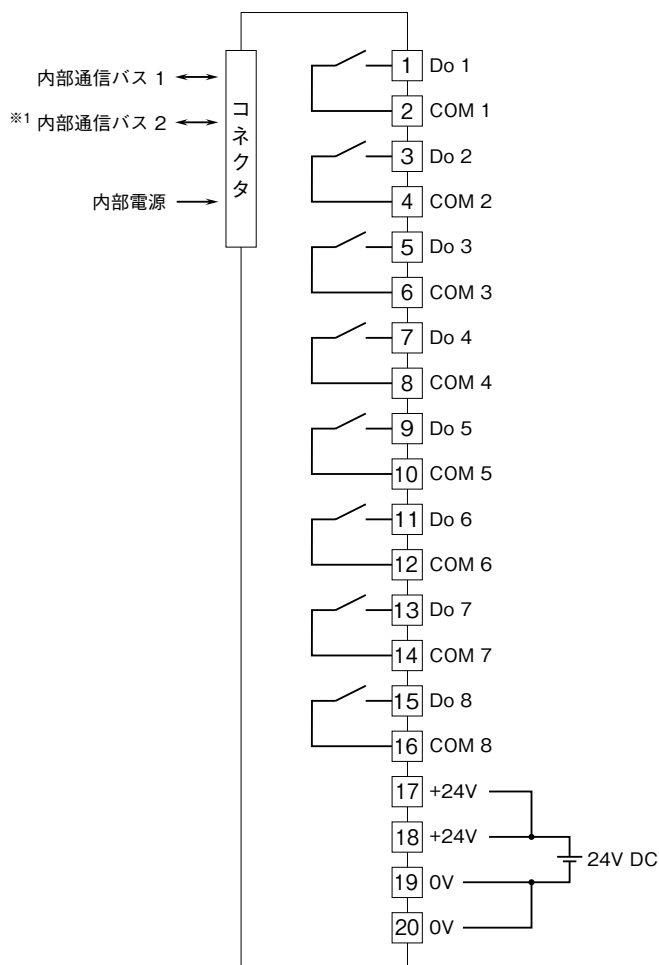
# 接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

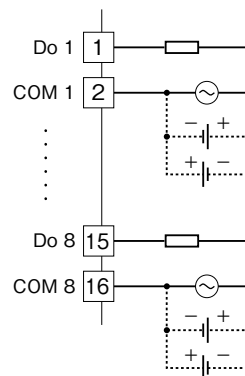
## 外形寸法図 (単位 : mm)



## 端子接続図



### 出力部接続例 1点1共通



※1、2重化通信形のとくのみ付きます。

### ■電線の接続について

適用電線サイズ

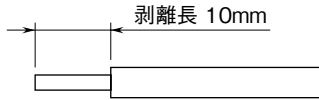
- ・単線 線：0.2～1.0 mm<sup>2</sup>
- ・より線 線：0.2～1.5 mm<sup>2</sup> (接触不良の原因になりますので、半田上げはしないで下さい)

・棒端子

プラスチックスリーブなし：0.25～1.5 mm<sup>2</sup>

プラスチックスリーブあり：0.25～0.75 mm<sup>2</sup>

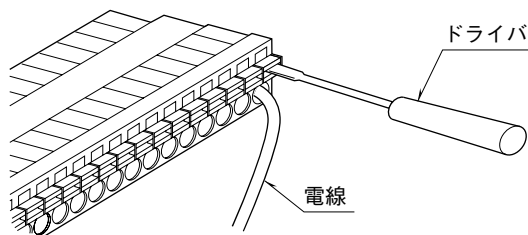
電線の被覆は10 mm 剥離して下さい。



### ●接続方法

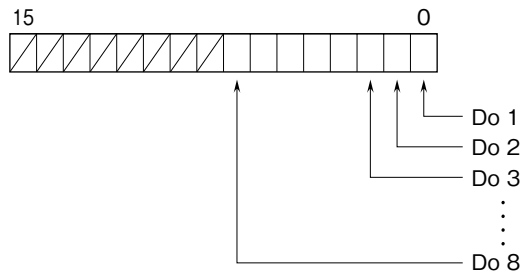
下図のように、ドライバで溝を押し込んだ状態で電線の先が奥に当たるまで挿入します。

被覆部を端子に挟まないように注意して下さい。



## データ配置

### ■Do データ



0 : OFF

1 : ON

## 出力部端子台

端子番号	内容
1	Do 1
2	COM1
3	Do 2
4	COM2
5	Do 3
6	COM3
7	Do 4
8	COM4
9	Do 5
10	COM5
11	Do 6
12	COM6
13	Do 7
14	COM7
15	Do 8
16	COM8
17	+24V
18	+24V
19	0V
20	0V

## 用語解説

### ■出力保持

内部通信バス 1 からのデータにて接点を出力します。バス 1 が異常となるとバス 2 のデータを採用します。バス 1、2 ともに異常な場合、出力は正常なデータを受信するまで保持します。

電源投入時は、正常データを受信するまで接点は OFF となります。

### ■出力 OFF

内部通信バス 1 からのデータにて接点を出力します。バス 1 が異常となるとバス 2 のデータを採用します。バス 1、2 ともに異常な場合、出力は正常なデータを受信するまで全て OFF となります。

電源投入時は、正常データを受信するまで接点は OFF となります。

## 保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。